

宍戸小学校の思い出



旧陣屋1

熊代 芽吹

私の小学校生活はとても充実していました。

一年生の時は、小学校生活がとても不安でした。しかし、クラスメイトや上級生、先生方が優しく接してくれたおかげで、不安が解消され、学校が楽しみになりました。二年生では、新しく入ってきた一年生に私達がしてよかったように優しくしようと頑張りました。三年生では、新しい教科が始まり大変でしたが、友達と協力して、一生懸命頑張りました。四年生では、二分の一人式を行い、家族に感謝を伝えることができました。五年生では、宿泊学習で仲間との絆をさらに深めることができました。六年生では、最高学年として、仲間と協力しながら下級生を引っ張っていきました。六年一組の学級訓の「最高学年として責任をもち、さらに絆を深める最高の一年間」を達成できたと思います。

たくさんの人達のおかげで充実した小学校生活を送ることができ、私はとても幸せです。



たずねてみたら

No.114

e-sportsにかける展望と期待



旧陣屋2

川上 信昭

e-sports は、ゲームを使ってみんなで楽しく過ごす新しい集まりの形です。勝ち負けよりも、「一緒に笑う」「できたを喜ぶ」ことが大切だと思います。

高齢者の方にとっては、画面を見て考えて指や腕を少し動かすだけでも良い刺激になります。家にこもりがちな日でも、会場に出かける理由ができ、仲間づくりにもつながります。いっぽうで、初めての操作は不安ですし、場所や教える人が少ないのも課題です。だからこそ、地域の会館や学校と力を合わせて、ゆっくり説明し、できるだけ簡単な操作から始めます。椅子に座ってできる内容にしたり、休憩を入れたりして、無理なく続けられる工夫も大切だと思います。見守り役がそばにいて、知らない人とのやり取りが起きにくい形にして、安心して参加できるようにしたいと思います。

まずは見てみるだけでも大丈夫ですので、気軽に一歩を踏み出してほしいと思います。



おしらせ欄

○「笠間市社会福祉協議会宍戸支部規約」の改正（第1条、第11条）が行われました。左QRコードからご覧いただけます。



宍戸駅前ロータリーが広がりました



旧陣屋レクリエーションクラブのみなさん（資源物回収活動）

編集後記

第139号をお届けします。読後の広報誌をどのようにしていますか。捨ててしまう方、古紙回収となる運命かなと思うと悲しい。私はファイルして保存しています。

折に触れページを開くと懐かしい思い出がよみがえります。また、部数が増えるたび手応えを感じ、書物化していくのも楽しみです。



安達正男 小川福子 羽生 力
高橋武志 和田博美 穴澤典子
青木恵子 木内久雄（協力員）
（小川）

第139号

令和8年6月18日発行

発行 笠間市社協宍戸支部
市毛 正明
編集 宍戸支部広報委員会
印刷 大塩企画

笠間市社協 宍戸支部だより

— 福祉の光 地域を照らす 心の道 —



令和8年度運営委員会メンバー

●支部長あいさつ●

温故知新

縁あってこの宍戸地区に生まれ育ち、社協宍戸支部の支部長2年目となりました市毛です。今まで、この宍戸地区の成り立ちにさほど関心はありませんでしたが、歳を重ねるにつれ、この地との縁を意識するようになりました。特に宍戸支部会館のある旧陣屋の神社前には、この宍戸の歴史が書かれた掲示板があり、時折この掲示板に見入っている御夫婦の方や旅行者の姿を見かけました。また、支部会館の周囲を散策されている方に社協の委員さんが声をかけたところ、この地に興味を持って訪ねてこれら、社協会館の内部資料を案内したところ、たいへん感謝されたとの話も聞きました。

さらに、末広稲荷神社の場所にあった宍戸城は平城としても注目されており、多くの資料をネット上でも調べることが出来ます。また、国の登録有形文化財に指定されているかつての宍戸町役場であった歴史民俗資料館もあり、沢山の宍戸地区に関する興味深い歴史を知ることができます。

これらのことから、縄文式土器が出土する地であり、平安、鎌倉、江戸時代と時を重ねてきたこの宍戸の古に想いを馳せ、今の自分たちがどうあるべきかという立ち位置を確認してみるのも一興ではないでしょうか。

